

早春の候、日頃より会員の皆さまには、山形県山岳連盟の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

去る3月15日、大江町において2026年度定時総会を開催し、ご審議のうえ今年度事業についてご承認をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年度は役員改選の年であり、限られた体制ではありましたが、皆さまのご尽力により各種事業を無事遂行することができました。改めて深く感謝申し上げます。

さて、近年の社会情勢の変化の中で、各種団体においては、役員の担い手不足、会員の高齢化、新規会員の減少といった共通の課題が顕在化しています。

山形県山岳連盟においても例外ではなく、発足以来76年を迎える中で、最盛期には高体連を含め22団体を数えましたが、現在では9団体にまで減少しております。

また、加盟団体の減少に伴い役員体制の維持も課題となり、2021年度からは県内を一体とした運営体制へ移行しましたが、兼務による負担増などにより、事業の見直しや重点化も必要な状況にあります。

一方で、本連盟は「県内登山愛好者を代表する組織」として、対外的にも重要な役割を担っております。山岳競技もスポーツクライミング競技に移行してきた中、これまで培われてきた自然との共生の精神や活動の意義を継承しつつ、今後のあり方について検討を深めていく必要があります。

大切なのは、意欲を持ち、やりがいを感じながら活動を続けていくことです。総会で承認された記念誌の作成についても、これまでの歩みを振り返る重要な事業として、完成に向けて取り組んでまいります。

来年度は役員改選の年であり、また、山形での東北スポーツ大会の開催も予定されております。時代の変化に応じた柔軟な対応と培われてきた理念を次世代へ確実に継承していくため、本年度は皆さまと協議を重ねながら、持続可能な組織運営のあり方を模索してまいります。

結びに、加盟団体の活性化と会員にとって有意義な活動の推進を第一に、「山岳愛好者のために、仲間のために」という思いを共有し、ともに歩んでいけることを願い、新年度のご挨拶とさせていただきます。